

# ベトサダニュース

NPO法人 自立支援事業所ベトサダ

〒001-0021 札幌市北区北21条西2丁目1-3

TEL:011-716-5130 ◆ FAX:011-708-7117

HP: <http://www.npo-bethesda.com>

mail: [office@npo-bethesda.com](mailto:office@npo-bethesda.com)

## 各理事より

新たに当施設を知っていただいた皆様、並びに変わらぬご支援くださいます皆様方、改めて当施設を支援していただき、誠にありがとうございます。利用者、当法人スタッフを代表し厚く御礼申し上げます。

このよう大変な時期にも関わらず、当施設を気にかけてくださり大変嬉しく思います。毎回同じような内容ですが、私のできることは、皆様のお気持ちやご要望のように活かされているのか、お伝えすることですので、ご理解いただくと幸いです。

ベトサダで、当たり前の生活を送れる背景には、ご支援くださる皆様のお気持ちがあることを、一人一人に伝えるようにしています。これには賛否両論ありますが、私は伝えることによつて、自分の自立に沢山の人が関わっているということを感じ考え、今後の自分の生活に活かして欲しいのです。

「自立の第一歩を踏み出しているのは支援してくださる方がいてその方々の思いが含まれていることを忘れないでください。あなたは独りではない。」と。

先日、利用者が当施設を退所しました。年齢も26歳とまだ若く、就労意欲がとても高い青年でした。人間関係で職を失い、コロナで新たな仕事が見つからず、所持金もなくなり、一週間ほど路上生活をして当施設にきました。何も持っておらず、着替えもない状態で当施設にきた彼は2日間、何も口にしていなかった状態でした。

新しい着替えや日用品を渡し、食事も摂り、その日はすぐに寝てもらいました。翌日から話を聞いた上で、就職活動を手伝い、すぐに仕事は決まりました。その企業は、当施設の活動に賛同してくれている企業であつた為、住まいもすぐに見つけられるように手配して下さり、結果としてその若者は、迅速に居場所を確保できました。

退所する際、「ご飯うまかったです、忘れません。何も無い自分に色々なものをくれたことも忘れません。仕事探しても手伝わってもらったこと、居場所ができたことも感謝しています。」と言ひ、その顔は申し訳なさそうなの、でもどこか安心してこれからまた頑張ろうとしているような、当施設にきた時とはだいぶ変わった顔つきでした。

その時も私は「あなたが手にし、口にしたものは、このベトサダを支援してくれている沢山の人の助けのおかげですよ」と伝えました。

その若者は、2、3度顔つき、何か感じ取った様子で、最後に彼は深々とお辞儀をして歩み出していきました。綺麗事ばかりではありません。これからまだまだ困難な事があるでしょう。もしくは誰かが困っている場に遭遇することもあるでしょう。そんな時こそベトサダのことを思い出して欲しいと思います。

全員ではないのだけれど「助けられる側から助ける側」にこの輪にみんなが加われば少しは生きやすい社会になると私は信じています。そんなことを考えながら日々私も皆に助けられながら生きています。

一代表理事 吉川勇也



新型コロナウイルスの変異株が猛威を振るっている

と新聞やテレビで報じられております。感染者数やクラスター発生のお話を聞くたびに思うのですが、感染して自分の身体が重症化することも怖いですが、自分が感染することによって、周囲に多大な迷惑をかけてしまうこと、いや迷惑をかけられたと皆から思われてしまうことのほうがよっぽど怖いなど。

3月末のある日、私は職場で仕事をしていたのですが、どうも身体がだるく、明らかに風邪の症状を感じたので慌てて早退しました。帰宅し熱を測ったら、案の定37度を超えている。何かの間違いであつてほしいと思いましたが、夜には38度を超え、翌朝になっても熱は下がらない。覚悟を決めて7月11日に電話をして症状を伝えると、すぐに病院で検査をするように伝えられました。

もし検査で陽性反応が出たらどうしようか、数日後に、職場(短大)の入学式が控えていたのですが、クラスターにでもなったら入学式は中止になるのだろうか、その時は山内が原因だったかと思われるのだろうか、といった不安で頭が一杯になり、ますます具合が悪くなりました。結局検査結果は陰性ということだったので

ホッと胸をなでおろしました(入学式は大事をとって

欠席させてもらいました)が、結果を聞くまではホント

もう二度とこんな思いはしたくないですが、今のところ唯一の望みはワクチン接種です。現在、そのワクチン接種が各地で進められていますが、これは住民票の置いてある自治体から、登録住所宛てに「接種券」が配布されるそうです。この文章を読んでいる方の中にも、すでに受け取った、接種を済ませたという方もいると思います。ああ私も早く安心していい。

ところで先日テレビを見ていたら、この「接種券」をめぐる、ある問題が指摘されてきました。住民票登録、つまり住所があることを前提にした仕組みでは、例えば、ホームレスやDV等で、シェルターにいる人たちはどうなるのかというものでした。

もちろん圧倒的多くの国民は、住民登録をしているので、速やかな接種のためにこの仕組みは有効でしょう。しかしそこからこぼれ落ちてしまう人をどうするのかという点について、具体的な話は何も決まっていなかったのです。

この「住民票登録問題」は、ちょうど一年前の特別定額給付金の時も、同じことが指摘されてきました。ただし、やや乱暴な言い方をすると特別定額給付金は、問題の当事者が、給付金を受け取る本人に限定されがちであつたのに対して、ワクチン接種の場合は、接種できないと、本人だけでなく、周囲の人たちの感染リスクも高め、多くの人を当事者として巻き込む危険性が生じます。私が心配するのは、これがホームレスパッシングにならぬように、感染リスクを広げない、社会の迷惑であるという声が出てこないだろうか。

私自身はホームレス状態に人々に対して、できれば脱路上を果たしてほしいと考えている一人です。しかしその人の事情を全く考えないで、皆に迷惑をかける存在だからと責め立てて、脱路上を迫るといふのはどうなのでしょうか。ここで問題とならなければならないのは、住所がないと、ワクチン接種ができない可能性があるという制度設計のほうです。3月末に発熱した私がそうであつたように、ホームレスの人たちも周囲から迷惑をかけられたと思われたくはないでしょう。だから制度の欠陥によってそういう人が出てこないように、私もホームレス支援団体のメンバーの一人として、どのようなことができるか考えていきたいと思っています。

【理事 山内太郎】

## 新しい風と共に



新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらず、緊急事態宣言の中で、新たな取り組みが続いているように思います。その一つが、オンラインでの会議の拡充です。今回、ベトサダの通常総会及び理事会についてもオンラインで行われました。この間、ご承知のように、山崎さんから吉川さんに理事長が交代しています。新たな職員も

加わり、新しい風と共に、今期のベトサダが動いていきます。どうぞよろしく願ひいたします。

他方、私自身はさほど大きく変わることもなく、業務を続けています。非常勤でもついている大学の授業が、オンライン実施になっていて、学生さんたちと対面することがなくなりりましたが、日常の弁護士業務では、対面での相談、対面での裁判が進んでいます。感染症拡大の流れの中で、オンラインは非常に効果的に用いることで、事件や問題を滞留させることなく、解決に結びつけることができました。その意味で、非常に重要な役割を果たしていると思います。

しかし、オンラインが進むことにより、私たちのコミュニケーションは、音声だけではなく、「空気感」というか「雰囲気」というか、非言語的な部分が、重要な役割を果たしていることを、改めて実感することになったように思います。

ベトサダを訪れる人は、様々な悩みを抱えてやってくるでしょう。その悩み自体は、オンラインでも解消する事ができるのがほとんどです。しかし、その根底にある「人とのつながり」は、オンラインだけではなかなか醸成が難しいもののようにも思います。

もとより、スタッフと利用者の安全安心が第一です。どうしても直接対面を控えなければならぬこともあつて、オンラインという新しい風へのりつつ、変わることにない人とのつながりのぬくもりを、どのようにつないでいくか。新しい社会のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。今期もどうぞよろしく願ひいたします。一理事 池田賢太



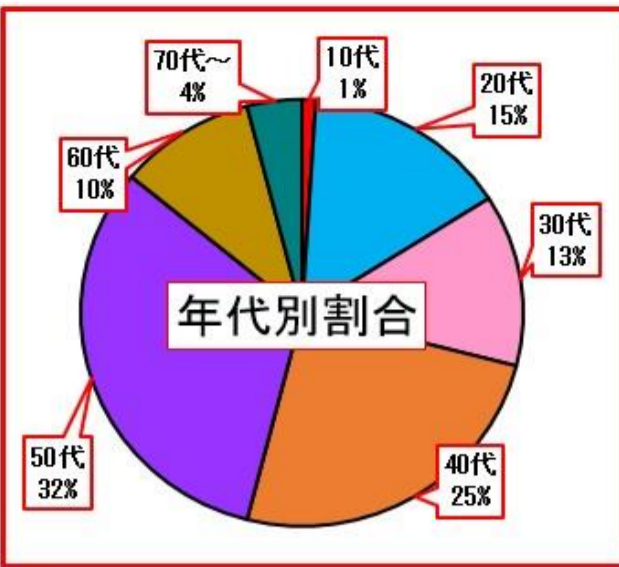
何かあると眞鍋さんに相談していた頼りない私も、支援者さまから頂くお手紙やメッセージの言葉に支えられながら、またひとつ年を重ねることが出来ました。若い時と違って、背伸びしたり、北海道弁で言うところの「いいふりこき」を装うこともなく、等身大のまま生きている心地よさを最近感じています。

人は優しくなるためには、強くあらねばという気持ちや、弱いままで良いんですからね。だから、甘えたり頼ったり、お互いを思いやる気持ちを忘れずにいければ、小さな幸せはたくさんあると気づきました。「わかってくれない」そんな思いに囚われ、自分の中で壁を作ってしまったこともあります。わかって欲しいからこそ、そういう感情が起きていたのじゃないかな。今は、言葉や行動に表すことを、私なりにやれたら良いなと思っています。

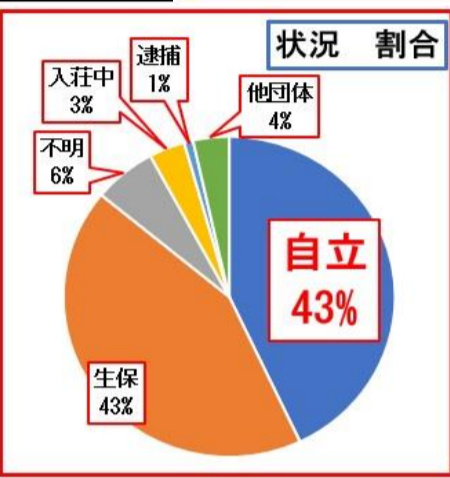
「自己責任」「自業自得」の言葉を叩きつける社会ではなく、相手を思いやる気持ちを持つる勇氣を持ちたいです。とりあえずこの一年、五輪の為に我慢してきたわけじゃないという複雑な心境です。一理事 佐藤裕子



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
10代	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
20代	1	1	3	2	1	0	2	0	0	2	2	1	15
30代	1	1	2	2	2	3	0	1	0	1	0	0	13
40代	6	3	4	0	4	3	1	1	1	1	0	1	25
50代	3	4	6	3	3	3	1	2	1	3	2	1	32
60代	1	1	2	0	1	1	0	0	0	1	1	2	10
70代～	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0	0	4
計	12	10	18	9	11	10	5	4	2	9	5	5	100



	自立	生保	不明	入荘中	逮捕	他団体	計
10代	1	0	0	0	0	0	1
20代	10	5	1	0	0	0	16
30代	12	2	1	1	0	1	17
40代	14	10	2	1	0	1	28
50代	12	20	3	1	1	0	37
60代	0	10	0	1	0	0	11
70代～	0	2	0	0	0	2	4
計	49	49	7	4	1	4	114



ご寄贈のご紹介は、次号にて掲載予定です。

事務局より

新緑が眩い季節になりました。北海道で一番良い季節ですね。コロナウイルスによりまだ正常な生活に戻れていませんが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

そして、コロナウイルス影響下の中、皆様方には多大なご支援を賜りまして有難う御座います。

前月号でもお伝えしましたが、今回令和2年度事業のグラフを入れていきますので数値をもう一度載せます。総利用者数114名(前年度より引き継ぎ14名含む)になりました。前半は企業の求人中断があり就労に繋げることも出来ず、この時期に利用した人は、ほぼほぼ生活保護に繋げるしかできませんでした。就労支援者数58名で自立者49名(実家に帰る・知人のところに行く等も含む)・札幌市委託事業対象外(生活保護受給中等)の人は3名で生活保護対象者は49名4月1日現在で引き続き利用中4名です。入荘以前の居住地は、札幌市内から60名・道内26名・道外19名、刑務所及び拘置所9名でした。

内閣府NPO法人ポータルサイトに2020年度貸借対照表を公示しましたので、閲覧可能となっております。

この度、ホームページをリニューアルし、ホームページ内に寄附・募金受付サイトを開設(コングラントサイト)いたしました。それに伴い新しくクレジットカード決済が可能になりました。また、今まで通り募金を直接、口座に送っていただく銀行振込もご利用頂けます。

かなり大変な令和2年度でしたが、新たにスタッフも加わり、安定した状態になってきました。より内部充実を行い、活動を行っていきます。これからも皆様の御支援宜しくお願い致します。【藤原】



ベトサダニュースをご覧の皆様、初めまして。私は4月末より、ベトサダスタッフとして働いております。吉田伸一と申します。ベトサダスタッフになったきっかけは、自分自身が生活困窮になり、ベトサダに入荘しお世話になり、自分はこのからどうしていいかわからない時、吉川代表に「支援員としてベトサダで働いてみませんか？」と、声をかけて頂き、スタッフとして現在勉強しながら働いております。

1日も早く、その人に合う支援が出来るよう、努力していこうと思っておりますので、皆様どうぞよろしくお願い致します。

【吉田伸一】



もう少しで七夕です。私にとって、七夕は、母に浴衣を着せてもらい、新しい提灯を持ち、幼馴染たちと町内を歌いながらろうそくを貰いに歩いた楽しい思い出の日でした。

ご存知の方も多いと思いますが、昨年の七夕に、とても親しい人が事件の被害者となり、大切な命を失いました。彼とは、私がこのベトサダで活動する以前からの知り合いで、敬虔なクリスチャンでもありました。

三日に一度は私の所へ来てくれて、「ゆうこさん、法王さまの写真あげ持ってきてから食べて」と、人懐こい笑顔で、いつも楽しいひと時を一緒に過ごしました。

私が大好きな映画のワンシーンを再現してくれたり、どれだけ笑顔をプレゼントしてくれなかったかわかりません。今も毎日思い出さない日はないくらい、寂しいです。

世の中には理不尽なこと、たくさんたくさんあるけれど、今まで出会ってきた笑顔を決して忘れずに、時に立ち止まりながらも進みたいと思えます。いつも、あなたがいとお支えをありがとうございます。【ゆうこ】

【会費納入者さま・寄附者(献金者)さま】  
アイウエオ順

4月1日～4月末日  
今井豊一さま/上野祥子さま/NPO法人あきた結いネット 坂下美渉さま/岡部欽一さま/株式会社スタート 佐々木一樹さま/協同組合 アジアンネットワークさま/櫻井智恵さま/秀欧会福祉サービス株式会社 対馬靖和さま/中山幸児さま/沼崎晃宏さま/ノースビルディング株式会社 藤林誠之さま/ラフター法律事務所 小田桐誠弁護士さま/他 匿名希望さま、19名

5月1日～5月末日  
岡部欽一さま/株式会社スタート 佐々木一樹さま/協同組合アジアンネットワークさま/秀欧会福祉サービス株式会社 対馬靖和さま/せいかつ支援機構 米谷貢太さま/高野祥子さま/中山幸児さま/ノースビルディング株式会社 藤林誠之さま/三浦絹子さま/峰崎生子さま/峰田はるかさま/他 匿名希望さま、11名  
更に、4月は12名、5月も13名の方よりご寄贈を頂きました。心よりお礼申し上げます。

みなさまのご寄附は 自立を目指す方々の 生きる希望となります

◆ ご寄附 送金先 ◆  
【ゆうちょ銀行】  
口座番号 02720-1-45798  
口座名義 特定非営利活動法人 自立支援事業所 ベトサダ

みなさまから託していただいたご寄附は、自立を目指す方々を支援するため、ベトサダの活動・運営のために使わせて頂きます

ご寄附の際に、掲載「可」又は「匿名希望」のいずれかを○で囲んで頂けると助かります。尚、記載の無い方は匿名とさせていただきます。尚、掲載可の方はお手数ですがご連絡下さい。以前いずれかの選択をされた方は、登録済みですので記入無でも大丈夫です。